

# 議会だより

## 3月定例会の あいまし

定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で開催されました。

平成30年度藤岡市一般会計予算など55議案が提出されました。

◆27日〓本会議 会期の決定。

市長提出議案54件を上程  
うち38議案を即決。

◆2日〓経済建設常任委員会、

教務厚生常任委員会。

◆8日〓本会議 一般質問。

◆14・15日〓予算特別委員会。

◆19日〓本会議 委員会付託議案

16件を可決。  
追加議案1件を即決。



## 議案等審議結果〈3月定例会〉

番 号	件 名	結 果
<b>市長提出議案</b>		
報告1号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報 告
第1号	三波川財産区管理委員会委員の選任について	同意（全員）
第2号	藤岡市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正について	可決（多数）
第3号	藤岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第4号	藤岡市長等の諸給与条例の一部改正について	可決（全員）
第5号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決（多数）
第6号	藤岡市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	可決（全員）
第7号	藤岡市交通指導員設置条例の一部改正について	可決（全員）
第8号	藤岡市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全員）
第9号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第10号	藤岡市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第11号	藤岡市手話言語条例の制定について	可決（全員）
第12号	藤岡市介護保険条例の一部改正について	可決（多数）
第13号	藤岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（多数）
第14号	藤岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第15号	藤岡市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決（全員）
第16号	藤岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全員）
第17号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可決（全員）
第18号	藤岡市中小企業設備近代化資金融資促進条例の一部改正について	可決（全員）
第19号	藤岡市工場立地法に基づく地域準則条例の制定について	可決（多数）
第20号	藤岡市市営住宅管理条例の一部改正について	可決（全員）
第21号	藤岡市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可決（全員）
第22号	藤岡市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	可決（全員）
第23号	藤岡市公園条例の一部改正について	可決（全員）
第24号	財産の貸付けについて	可決（全員）
第25号	字の区域の変更について	可決（全員）
第26号	市道路線の廃止について	可決（全員）
第27号	市道路線の認定について	可決（全員）
第28号	平成29年度藤岡市一般会計補正予算（第4号）	可決（全員）
第29号	平成29年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
第30号	平成29年度藤岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
第31号	平成29年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
第32号	平成29年度藤岡市介護老人保健施設特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第33号	平成29年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第34号	平成29年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
第35号	平成29年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第36号	平成29年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第37号	平成29年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第38号	平成29年度藤岡市三波川財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第39号	平成29年度藤岡市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第40号	平成29年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計補正予算（第1号）	可決（多数）
第41号	平成30年度藤岡市一般会計予算	可決（多数）
第42号	平成30年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決（多数）
第43号	平成30年度藤岡市後期高齢者医療特別会計予算	可決（全員）
第44号	平成30年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可決（多数）
第45号	平成30年度藤岡市介護老人保健施設特別会計予算	可決（全員）
第46号	平成30年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決（全員）
第47号	平成30年度藤岡市学校給食センター事業特別会計予算	可決（全員）
第48号	平成30年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可決（全員）
第49号	平成30年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可決（全員）
第50号	平成30年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可決（全員）
第51号	平成30年度藤岡市三波川財産区特別会計予算	可決（全員）
第52号	平成30年度藤岡市水道事業会計予算	可決（全員）
第53号	平成30年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計予算	可決（全員）
第54号	平成29年度藤岡市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員）
<b>請 願</b>		
第1号	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願	不採択（少数）
第2号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願	不採択（少数）

新公立藤岡総合病院

こいつ

小西 貴子

**問** 昨年11月1日の統合後、最大のメリット等、誇れるものについて伺います。

**答** 医療機能の強化、高品質の医療サービスの提供を目指しています。建物は免震構造で、感染症病棟、血管治療室、内視鏡室、PET・CT等高性能医療機器の導入、母子医療センターとして小児科・産婦人科をワンフロアに配置、回復期リハビリ病棟、緩和ケアセンターではワンストップで患者支援を行っています。

**問** 大切な市民の命に関わる救急医療体制、救急車の受け入れと救急外来、それぞれの現状と課題について伺います。

**答** 救急車の受け入れについては、月平均で365・8件、収容患者数は月平均3253件、収容率は89%、1日平均10・8件、365日24時間救急対応しています。

す。小児科医師は、西毛地区輪番日に対応しています。さまざまな要因と患者の状況を基に、適切に判断し受け入れていきます。

**問** 統合前後の財政面と持続可能な病院経営について伺います。

**答** 入院棟と外来棟を分離した平成14年から赤字が続いていましたが、平成23年度から黒字に転じています。統合後、企業債の償還等で厳しい経営にはなりますが、改善努力等を図り、安全で安定した医療の提供を進めていきます。

生活保護こいつ

**問** 本市の現状について伺います。

**答** 生活保護世帯数283世帯、保護率は0・53%です。県内11市と比較しますと富岡市、太田市に次いで3番目に低い保護率となっています。

**問** 生活保護制度は社会に

おけるセーフティネットとして最低限必要であります。が、最大の課題は働く意欲をなくすこと、一度受けたらその後の自立は難しくなってしまうこと、家族の絆を弱めることにつながっていると考えますが、就労支援の現状について伺います。

**答** 就労支援により保護廃止になった件数は平成27年度9件、平成28年度4件、平成29年度1月末現在で11件となっています。

子どもの貧困対策

こいつ

窪田 行隆

**問** 経済的に苦しい家庭の子どもに対して学習指導を行う無料学習塾を、市内でNPO法人が開いています。法人は市の協力で教室を増やしたい意向ですが、問題はボランティア講師の確保です。市は募集について情報提供すべきです。また会場の施設にも配慮が必要だと思いますが、考えを伺い

**答** 運営費の補助や、食中毒等のリスクに対する保険料への補助について、協議検討していきたいと考えています。

ます。

**答** 教員経験者へ呼びかけで周知に努め、また市内の大学、学生に対しても今後検討していきたいと考えています。また学習の場についても、協力を続けていきたいと考えています。

**問** こども食堂は、食事と温かい団らんを提供し、安心できる居場所になります。市内でも有志のボランティアで始まりましたが、経費は主催者が大きく負担しています。市内にこの取り組みが広がるよう、経費とこども食堂保険の保険料の補助が必要と思いますが、考えを伺います。

**答** 子どもの現状を把握するための生活実態調査と、対象世帯や関係者へのアンケート調査を実施する必要がありますが、考えを伺います。

えを伺います。

**答** 子どもの貧困対策を推進するには、現状を知ることには必要不可欠と考えます。調査の必要性や実施方法等について、協議検討したいと考えています。

市職員による見守り活動こいつ

**問** 独居高齢者やその他のハイリスク世帯に対して、見守りの強化が必要です。直接携わる人数には限りがありますが、本市最大のマンパワーは市職員です。職員が業務中に市民の異変等に気付いた時に、通報するルールと体制を定めるべきだと思いますが、考えを伺います。

**答** 市民の安全・安心のためには、職員の意識を高め、異変に気付いた場合の通報体制を整えることは有効な手段と考えます。見守り体制について検討してまいりたいと思います。

**旧公立藤岡総合病院、  
旧鬼石総合支所跡地について**

茂木 光雄

**問** 現状と再活用の見通しについて伺います。

**答** 旧公立藤岡総合病院は、市と多野藤岡医療事務市町村組合が協働して、民間事業者等による施設活用の可能性を調査するためのサウンディング型市場調査を実施しています。平成30年1月24日に事業者説明会、現地見学会を開催し、6事業者が参加しました。平成30年1月25日から2月28日まで、事業者からの提案の受付を行い、3月20日、22日、23日に参加事業者との対話をヒアリング形式で実施します。平成30年4月以降に市場調査に参加した事業者の数や提案の概要を公表し、その提案を参考にして旧病院の活用方法を検討していきたいと考えています。

これとは別に、平成30年2月2日に東京で行われた国土交通省主催のサウンディングにも参加し、4事業

者から建物の活用は難しいが、解体して更地にすればニーズが見込めるのではないかと、また、民間事業者が単独利用するのはハードルが高いので、公共施設も合築または併設して、その建設費や賃料を民間の収入に見込めるような事業内容が望ましい等の意見をいただいています。

旧鬼石総合支所については、平成28年8月から公共施設等マネジメント推進委員会等を7回開催し、活用や処分について検討を行い、委員会や部会で建物の解体の経費、その財源、公文書の保管場所、収納している備品の保管場所等の課題を検討した結果、全庁的に公文書の保管スペースが不足していることから、旧鬼石総合支所は当分の間、文書庫として使用する方針を決定しました。現在は行政財産という形で活用したいと考えており、条例または規則、要綱等の検討に入っていると伺っています。



**子どもの安全対策  
について**

**問** 通学路への防犯カメラの設置について伺います。

**答** 市内の各学校においては、地域の方による登下校の見守りなど、学校と家庭、地域が一体となって安全対策に取り組んでおり、現状において通学路に防犯カメラの設置は考えていません。

**環境問題について**

橋本 新一

**問** 若い市民が地元に住みなくなるような環境づくりについて伺います。

**答** 本市の人口は、平成7年をピークに減少しており、その要因は、死亡者数が出生者数を上回る自然減と、転出者数が転入者を上回る社会減の両方に起因しています。人口減少への対応としては、出生者数を増加させ

る、転入者数を増加させる、転出者数を減少させるという3つの視点に沿った取り組みを推進していくことが重要です。本市の転出超過は、大学等に進学するため市外に転出した若者が、就職の年代になったときに市内に戻って来ていないことが主な要因の一つと考えられます。これを改善するためには、若者の地元愛着心を高めるとともに、市内に魅力的な仕事の間を作り、Uターン等による若者の転入、定住を促すことが必要であり、その若者が結婚や出産を希望した時、安心して家族形成が実現できるような、子育て施策の充実や安定した労働環境の整備を図ります。

**問** 地元愛着心を高める具体的な施策について伺います。

**答** 地元愛着心を高めるためには、子どもの時から地域のことを知ることが重要です。世界文化遺産富岡製糸場と絹産業遺産群の構成資産である高山社跡の歴史

的価値について学ぶ高山社会学や、数学者である関孝和先生にちなんだ算学塾を実施し、郷土を愛し、郷土に誇りを持つ子ども達を育成しています。また、地域に伝わる郷土芸能や伝統行事の継承と後継者の育成や、市内に存在する貴重な文化財などの保護、保存、普及に努め、その歴史的価値や文化について学べる環境づくりを行ってまいります。

**問** 環境美化活動の現状について伺います。

**答** 市内の環境美化については、個人や団体を問わずボランティアが多岐にわたる積極的に活動しています。市が関係する活動は、地域美化活動推進事業や地域美化清掃、河川クリーン作戦などがあります。





防災・減災対策に

ついて

内田 裕美子

**問** 昨年6月の水防法改正を受け、本市においても浸水想定区域や洪水ハザードマップの見直しを行い、速やかに市民に周知し、最大級の豪雨に備えるべきです。洪水ハザードマップの更新予定、市民の防災意識の向上策について伺います。

**答** 平成30年度に、洪水ハザードマップを更新する予定です。市民の防災意識の向上については、各行政区や自主防災組織が行う避難訓練を推進し、広報にて災害への備えについてお知らせをしています。

**問** 災害時、要配慮者である高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等、一般的な避難所では生活に支障を来す方のための避難所として、市内12カ所に福祉避難所が開設されますが、近くの学校などの避難所に避難するケースが多いと思えます。要配慮者の方に配慮し

た避難スペースをあらかじめ確保していくべきと思いますが、考えを伺います。

**答** 要配慮者に対しては、生活しやすい環境を優先的に提供するように配慮する必要があります。と

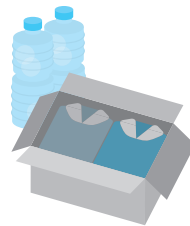
**問** 環境省のペットの災害対策のガイドラインでは、避難所や仮設住宅でのペットの受け入れルールを事前に定め、混乱を避けるように提言しています。避難所におけるペットの対応について考えを伺います。

**答** 飼い主にとってペットは、家族と同様、かけがえない存在であると考えています。ペットの扱いについてはあらかじめルールを定めたいと考えています。

**問** 災害発生後、道路が寸断された場合、救援物資がすぐに避難所に届かない場合が考えられます。あらかじめ避難所となる学校等に備蓄品を保管しておくことで、すぐに備蓄品の利用が可能となる為、避難所とな

る学校への備蓄を行うべきだと思いますが、考えを伺います。

**答** スペースの確保、管理体制等の課題もありますが、給食センターでも備蓄を検討していますので、今後、関係部署と調整したいと考えています。



住宅確保要配慮者の住まいの確保について

中澤 秀平

**問** 市営住宅の空き室数について伺います。

**答** 市営住宅の管理戸数及び空き室数は、平成25年度は、管理戸数465戸、空き室数22戸で入居率が95.27%、平成29年度は、管理戸数465戸、空き室数53戸で入居率が88.6%です。毎年空き室が増加している

傾向にあることから、住宅確保要配慮者などが入居しやすい制度体制を図ることで、市営住宅がセーフティネットとして役割を果たすように考えています。

**問** 入居しやすい制度体制として、入居条件の緩和策について伺います。

**答** 平成30年度より連帯保証人の条件を、2人とも市内居住から2人のうちの1人は県内居住に改正し、緩和を図ります。今後は単身入居が可能な住宅を拡大し、これまで以上に入居促進ができるような体制作りを整えます。

市民の交通手段の確保について

**問** 群馬県及び藤岡警察署での運転免許証の自主返納数の推移について伺います。

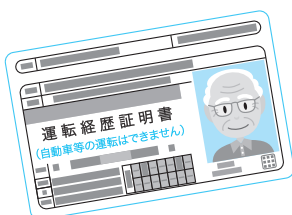
**答** 群馬県全体で運転免許証を自主返納した人数の推移については、平成25年が1,724人、平成29年が5,867人となっています。

す。  
藤岡警察署への自主返納者数の推移は、平成25年が38人、平成29年が182人となっています。

**問** 運転免許証返納の際、運転免許経歴証明書の交付手数料の補助や、タクシー券の補助をする考えがあるか伺います。

**答** 運転免許経歴証明書の交付手数料の補助は考えていません。

タクシー券の補助は、市民の足の確保という観点から重要な問題であると考えています。公共交通とあわせて持続可能な制度として実施できるように検討する必要があります。と



# 市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と随時に開催する臨時会があります。

## ◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階 議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名を記載し、番号札を持って入場します。

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

傍聴人の定員は58人です。

## ◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

## ■6月定例会（予定）

月 日	時 間	摘 要
6月14日(木)	10:00	本 会 議
6月15日(金)	10:00	本 会 議
6月18日(月)	10:00	常任委員会
6月19日(火)	10:00	常任委員会
6月22日(金)	10:00	一 般 質 問
6月25日(月)	10:00	一 般 質 問
6月27日(水)	10:00	本 会 議

※議事の都合により変更となる場合があります。

問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎40-2377

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。詳しくは、藤岡市議会のホームページや市役所相談室、図書館で会議録(5月下旬公開予定)をご覧ください。

藤岡市議会ホームページ ▶ <http://fujioka.gijiroku.com/>

# 議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継を見ることができます。

現在、インターネットで配信されている映像は、平成25年第4回定例会から、3月8日に行われた平成30年第1回定例会（今号掲載分）までの一般質問の様子です。

ぜひ、ご覧ください。

## 議会中継

● 録画放映 をクリック

The image shows a screenshot of the Fujioka City Council website. On the left sidebar, under the '議会中継' (Council Broadcast) section, the '録画放映' (Recorded Broadcast) link is highlighted with a blue callout box that says 'ココをクリック!' (Click here!). The main content area shows a video player with a recording icon. A second blue callout box points to the video player area, stating '録画放映画面です 画面を大きくすることもできます' (This is the recorded broadcast screen. You can also enlarge the screen). The website header includes the logo and name '藤岡市議会' (Fujioka City Council).

# 教務厚生常任委員会報告

## 行政視察

視察年月日 ●平成29年10月25日(水)・27日(金)  
 場 所 ●北海道函館市・青森県つがる市

### 「ぱーそなるすけっち」療育カルテについて

函館市では、子どもの成長発達過程において障がいやその疑いのある子に対し、早期に発見し適切な支援を行うことを目的とする小冊子「ぱーそなるすけっち」、「療育カルテ」を平成20年度に作成しました。その作成経緯や利用状況及び効果や今後の課題等について視察し、本市の参考にしたく選定しました。

「ぱーそなるすけっち」は、発達障がいについての理解を深めるとともに、発達障がいについての相談窓口を紹介することを目的に作成し、乳幼児健康診査の際に配布しています。  
 本市で実施している「子どもサポートファイル」も、「ぱーそなるすけっち」同

様、障がい児や発達に特別な支援が必要なお子さんを対象にライフステージに応じた一貫した支援が受けられるよう、保護者と関係機関が情報を共有するためのツールもあります。先進地施策として検証を行い、長所については今後の参考にしてほしいと考えます。



会議室にて説明を受ける

### 市立図書館について

つがる市では、平成4年に誘致した「イオンモールつがる柏」内に、市立図書館を開館するにあたり、運営主体を指定管理者とし、そこに至った経緯や運営内容等について視察し、本市の市立図書館運営の参考にするため選定しました。

つがる市は、「つがる市社会教育施設整備基本構想」を策定し、複合型施設の中に計画されていた市立図書館が「イオンモールつがる柏」別館を活用し、平成28年7月に開館しました。つがる市には市立図書館が今までなかったことでノウハウがないことから公募によって指定管理者導入を図り、開館時間を長く、休館日も少なくすることや小中学生向けにタブレットを用いた

デジタル学習教材を導入し、学習支援するなど多くの方に利用してもらえよう取り組みをしています。  
 本市においては、指定管理者の導入あるいは建物の老朽化に対し、今後、図書館の新築などの構想が生じたときには先進地事例として参考にしてほしいと考えます。



会議室にて説明を受ける

## 編集後記

若葉萌える、さわやかな季節となりました。  
 第1回定例会では平成30年度一般会計予算をはじめ、55議案の議決を行いました。また、一般質問では6名の議員により、活発な議論が行われました。

今後も、この議会だよりが市民の皆様にはわかりやすく、かつ、親しまれる紙面を目指しますので、よろしくお願い致します。

### 議会だより編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 野口 靖   |
| 副委員長 | 青木 貴俊  |
| 委員   | 大久保 協城 |
| 委員   | 橋本 新一  |
| 委員   | 湯井 廣志  |
| 委員   | 松村 晋之  |
| 委員   | 窪田 行隆  |
| 委員   | 針谷 賢一  |

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 橋本 新一  |
| 副委員長 | 丸山 保   |
| 委員   | 湯井 廣志  |
| 委員   | 窪田 行隆  |
| 委員   | 茂木 光雄  |
| 委員   | 針谷 賢一  |
| 委員   | 隅田川 徳一 |